



さが和らぎ、過ごしやすい季節となりました。スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、そしてなんといっても食欲の秋です。「食欲の秋」と呼ばれる理由には諸説ありますが、夏の暑さで低下していた食欲が回復することに加え、涼しくなって活動しやすくなることや、冬に備えて体がエネルギーを蓄えようとするなどが関係しているといわれています。さらに秋は、栗や新米、きのこ、秋刀魚、果物など旬を迎える食材が豊富になる季節です。季節の変化と食の楽しみが重なり、秋になると「おいしいものを食べたい」と感じやすくなるのだそうです。

そんな秋の味覚の代表選手のひとつが栗です。栗ご飯、栗きんとん、甘露煮、モンブランなど、お料理から和・洋菓子までさまざまな形で楽しんでいます。ところで、栗は果物？それとも野菜でしょうか？植物学的には「果実」に分類され、私たちが普段「栗の実」として食べている部分は種子にあたり、イガは皮、鬼皮が果肉になるそうです。農林水産省では果樹として扱われる一方、食品成分表ではアーモンドやクルミと同じ「種実類」に分類されています。逆に、果物の代表のようなイチゴやスイカ、メロンは農業上「果実の野菜」とされています。ちなみに栗は英語で「Chestnut(チェストナット)」で、名前に含まれる「nut」は木の実を意味します。ナッツ類は一般に栄養価が高いことで知られていますが、中でも栗は炭水化物やビタミンCを比較的多く含む少し変わった存在で、栄養面でも

優秀です。食物繊維やカリウムも含み、栄養価の高さから「スーパーフード」と紹介されることもあります。縄文時代の遺跡からも発見され、古くから貴重なエネルギー源として活用されていたと考えられています。

また、栗は縁起物としても親しまれてきました。保存食として用いられた干し栗は「勝栗(かちぐり)」と呼ばれ、もともとは栗を搗(つ)いて作る「搗ち栗(かちぐり)」が由来です。「かち」が「勝ち」に通じることから、勝利を願う縁起物とされ、結婚式の三々九度にもつながるといわれる「三献の儀(さんこんのぎ)」にも用いられ、戦国時代には織田信長や武田信玄も戦勝を願って持参したという説があります。さらに栗の木は、腐りにくく丈夫なことから、かつては線路の枕木にも使われていたそうです。秋の味覚の栗が、昔の鉄道を支える役割までしていたとは驚きです。

栗つながりで、十五夜の約1か月後に訪れる十三夜は「栗名月」と呼ばれます。栗や豆を供えて収穫に感謝する風習として知られ、中国から伝わった十五夜に対し、十三夜は日本独自のお月見文化ともいわれています。秋は空気が澄み、月明かりが美しく感じられる季節でもあります。「天高く馬肥ゆる秋」という言葉どおり、空が高く澄み、実り豊かなこの季節、いろいろな栗のお料理やお菓子などを味わいながら、夜空に浮かぶ栗名月にも思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。(参考・出典:農林水産省、国立天文台、日本気象協会、栗全書等の公開情報)

研修コースのご案内

審査員養成コース

審査員養成コースは、審査員を目指される方だけでなく、最近では企業様から、品質管理体制の改善や、内部監査員のさらなるスキルアップを目指してご参加いただくことが増えております。業務改善や力量向上を目指している皆様のご参加をお待ちしております。

- ISO 9001 (5日間)/ISO 14001 (3日間)/ISO 45001 (3日間)
※ISO 14001/45001の3日間コースは受講要件がございます。
詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

開催地 東京(弊社東京事務所)

日程 ● ISO 9001 ... 10/ 2(金) ~ 6(火)
● ISO 14001 ... 11/26(木) ~ 28(土)
● ISO 45001 ... 12/10(木) ~ 12(土)

NEW

ISO/IEC 27001:2022 審査員養成コンバージョンコース

5日間のマネジメントシステム審査員研修コースを修了された方を対象とした、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の審査員養成コースです。

開催地 東京(弊社東京事務所) **日程** 12/12(土) ~ 14(月)

オンラインセミナー

オンラインセミナー好評開催中!

各規格(ISO 9001/ISO 14001/ISO 45001/ISO 27001/ISO 22000等)の内部監査員養成コースを開催しています。また、講師派遣型セミナーもオンライン対応可能です。

*弊社ホームページよりお申込みいただけます。FaxまたはEmailでのお申込みの場合は、ホームページより申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご送付ください。

受講生からの
お便り

ISO 14001:2026 移行対応セミナーを受講して

ISO 14001:2026 移行対応セミナー(2026年6月東京会場)受講

株式会社遠藤製作所 品質保証部 マネージャー 松本 鉄平

弊社は1961年創業、精密金属加工を得意とする会社です。産業用印刷機器、半導体装置、環境分析装置、産業用ロボットなど幅広い分野の製品に携わり、グループ全体で山形県内4工場、ベトナム2工場体制で、常にお客様の期待に応えられるよう活動しています。

2003年にISO 9001、14001を取得、「経営、実務とISOを融合し顧客満足度をさらに高める」をテーマに取り組んでおります。今回、

ISO 14001:2026への移行に伴い本講座を受講いたしました。変更点を中心に、その背景や意図、審査員の視点などご説明いただきました。特に「4.組織の状況」と「6.計画」の進め方では新たな気づきを得ることができ、移行対応に向け、より具体的なイメージを持つことができました。ここで得た知識や情報を持続可能なMSへ反映させていきたいと思います。ISO 9001:2026移行の際もお世話になります。

インターテック・サーティフィケーション株式会社 <https://ba.intertek-jpn.com/>

東京事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル4F

E-mail: info.ba-japan@intertek.com

大阪事務所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル5F

E-mail: info.ba-osaka@intertek.com